

和良の郷だより

栗飯号

和良おこし
協議会発行



「はざこ」探検隊」を開催

「はざこ」(オオサンショウウオ) 関連のイベントが8月27日
28日と2日間連続で開催されました。

はざこを見つけたよ!!



(はざこを探すため箱メガネを覗き込む参加者)

年々変わってきており、その影響を若干気にしながらのスタートとなりました。開始前には雨も少し落ちてきて、探検隊には不安が過ります。参加者が揃ってからは、まずは岐阜大学 向井貴彦探検隊長から「はざこ(オオサンショウウオ)」のお話でスタートです。全身をはざこグッ

8月27日(土曜日)は毎年大人気の企画「はざこ探検隊」を開催しました。
直前の天候不順によって、和良川は若干増水気味で水量は約20cm高でした。川岸などの様子も

ツで決めた少年をはじめ、かなりマニアックな子どもたちや、大人が集ったこの日。向井隊長のお話にもくいつく入るよう聞いています。その様子を見ると今日の探検隊はかなりの期待が出来そうです。



(はざこマスク、靴下で参加)



(箱メガネをのぞいて探す様子)

着換えを終えて、いよいよ和良川に向けて出発です。川では雨の影響からモヤが見えます。川に手を入れて水温の低さを悟った探検隊は若干ひるむ様子をみせます。すると探検隊のひとりの子どもが「二ホンイシガメ」の子どもを見つけます。さっそく向井隊長の解説が始まると、みんな興味深そうに集っていきま



(隊員がイシガメを発見!)

す。話が長くなりそうなので、隊員の一人がはざこ探検に行くように促すと、意を決して隊長と隊員1人が川に入りま

す。やはり水温はかなり低く、なかなか隊員たちは後に続かないかなと思いきや、子ども達は声をあげて元気に川に入り始めています。いつもと様子の違う川の環境のため、はざこが見つかりにくいところでしたが、なんとかが一つの個体を見つけて、みんなで観察を始めます。岩の中に隠れているはざこは、見た目が岩と同化していて、なかなか確認できない隊員もいましたが、目の前にいることがわると「いたっいたっ」と大きなリアクションで喜びを表していました。結局、この日に確認できた個体は一つでしたが、隊員は自然に生息するはざこを観察することができました。そして、はざこが生息する自然環境を存分に感じた日となったと思います。隊員には「はざこ」を探しにまた和良を訪れて欲しいと思います。

日本旅行 ツアー受入

はざこ関連イベント2日目となる8月28日(日曜日)は日本旅行企画「脱炭素から始まる令和4年度清流の国ぎふ親子環境学習工コツアー」の開催でした。

この日バスが到着すると、さっそく自己紹介からスタートです。午前中は鮎の塩焼きの串打ち体験、岐阜大学向井貴彦先生のはざこのお話です。



午後は和良川ではざこを探した後、兼山農園での「トマト狩り」です。農園に向かい、兼山さんから収穫方法などのレクチャーを受けて、真っ赤なトマトを収穫しました。そしてこの日の体験の終わりに道の駅和良でふり返しを行いました。それぞれが自然のなかで感じたことなどを話し、子どもたち全員には体験認定証が配られました。

認知症について考える 良良カフェ開催

9月14日(水曜日)、「わらおこし」を
開場に郡上市地域包括支援センター主催で
「良良(らら)カフェ」が開催されました。
この取り組みは、介護経験者や専門職が
いるカフェで、気軽に認知症のことについて
話したり、情報交換したりする場で、ど
なたでも参加できます。



(演奏に耳を傾ける参加者)



(あちこちで会話が弾みます)

家族に認知症の方がおられる方や、自身
の今後を考える方、地域の見守りを行って
おられる団体の方など、多くの方が参加さ
れました。最初にギターやピアノの伴奏と
ともに、歌声を届けている「うたおまいか
い」の皆さんと、参加者の方が懐かしい歌
を歌い、笑顔もたくさん見られました。保
健士さんから認知症に関するお話や、認知
症の方のメッセージ動画などを見て、その
あとは自由にお話をする時間となりました。
経験者のお話や、普段はなかなかお会い
できない地域の方とお話をする時間はとて
も楽しそうで、いつもは自家の周りや家族
としか会えない状況にある方々もあって、
いつもと違う会話も楽しんでおられたよう
です。

清流めぐり利き鮎会

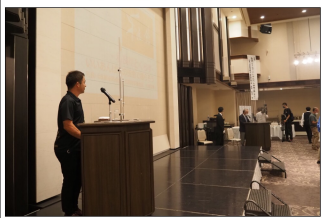
9月22日(木曜日)、高知県高知市で
「清流めぐり利き鮎会」が開催されました。
3年ぶりに開催された本大会は選抜大会と
して、過去に準グランプリ以上を獲得した
河川のみで競いました。そして結果は、残
念ながら郡上鮎、和良鮎共に入賞はならず、
グランプリには高知県 奈半利(なはり)
川が輝きました。

今回のスペシャル大会では、「和良川と
くらすくしいあなばい」の田舎で暮らそう」
として、和良川漁業協同組合 大沢克幸組
合長が講演しました。そのなかで組合長は
和良鮎をPRしていくうえで、釣り人だけ
をターゲットにするのではなく、和良のフ
ァンの獲得が大切である。それには、地域
の人たちはもちろん一般の方々への理解や協
力が重要だと考える、と語りました。

今回、清流めぐり利き鮎会が開催された
ことに感謝すると共に、高知県の鮎がグラ
ンプリを獲得して、ますます鮎に対して興
味、関心をもっていたいただき、盛り上がり
を見せることになっていくことを望みたい
と
思います。



(会場の様子)



(講演する大澤組合長)

和良おこし協議会では、「いつまでも暮
し続けられる集落」を目指した取り組みを
行っています。これまでもT型集落点検・
夢ビジョン事業のフォローアップ活動など
を行っており、その一環で移住促進にも取
り組んでいます。

和良町へは、現在も移住を希望される方
から多くの相談があり、これまでも多く
の方が移住されました。これからも和良に
移り住まわれる方が来てくれることを望ん
でいますが、紹介できるお家は多くありま

求む！ 空き家情報

「空き家」の情報提供をお願いします

和良町では、空き家に関する情報を収集し、地域住民に提供しています。空き家の情報は、和良町では、空き家に関する情報を収集し、地域住民に提供しています。空き家の情報は、和良町では、空き家に関する情報を収集し、地域住民に提供しています。

和良町では、空き家に関する情報を収集し、地域住民に提供しています。空き家の情報は、和良町では、空き家に関する情報を収集し、地域住民に提供しています。

せん。一方で和良町内では空き家が増えて
います。維持管理ができない空き家は、数
年で住めなくなり、防犯上も危険です。空
き家だったところに人が住むことにより家
の管理も出来ず。

和良町でこころよく移住者を受け入れて
いただいております。移住された方が地域の
人たちと良い関係を築き、集落の皆で暮ら
しているような姿が見えてきました。空き家
をどうしようか困っている方がみえまし
たら、ぜひ一度ご相談ください。

イベント掲示板

ろうけつ染め体験教室

とき:10月1日(土)
ところ:わらおこし
(下洞554)

火振り漁 鑑賞会

とき:10月1日(土)
集合:わらおこし
(下洞554)

市民協働センター相談日

とき:10月17日(月)
10時~15時
ところ:わらおこし(下洞554)
相談員:大中センター長

和良町の人口

令和4年9月1日現在(カッコ内は前月比)

